

第113期 事業のご報告

株主通信

2022年4月1日～2023年3月31日

株式会社 椿本チエイン

証券コード | 6371

既存事業の収益力強化や新事業開発の推進、モノづくりの強化に努めてまいります。

株主の皆様には、平素より格別のご支援、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2022年度の連結業績について

2022年度の連結業績は、売上高2,515億円、営業利益189億円(営業利益率7.5%)となりました。

世界経済は、ロシア・ウクライナ情勢に起因したサプライチェーンの混乱や世界的なインフレの加速など不透明な状況ではありましたが、チェーン事業が販売好調であったことや全面的な円安などにより、当社業績は前年度比16.5%の増収となりました。営業利益も同6.4%の増益となりましたが、原材料価格の高騰や人件費の増加などにより、営業利益率は7.5%と前年度より0.8ポイント低下しました。

連結業績ハイライト

売上高	2,515 億円	前年度比 16.5% ↗
営業利益	189 億円	前年度比 6.4% ↗
親会社株主に 帰属する 当期純利益	137 億円	前年度比 5.5% ↘
1株当たり 配当金	130 円	前年度比 8.0% ↗

2023年度の連結業績予想について

2023年度の世界経済は、エネルギー価格の高騰やインフレの進行、世界各国での金融引締めなど、予断を許さない状況が続くものと予想されます。また、昨年度に比べ為替は円高に進むと想定しております。

以上により、2023年度の連結業績予想を次のとおりといたしました。

売上高:2,550億円(前年度比1.4%増)、営業利益:190億円(同0.1%増)、経常利益:199億円(同5.1%減)、親会社株主に帰属する当期純利益:144億円(同4.8%増)

当社グループは、「中期経営計画2025」の課題達成に向けて、既存事業の収益力強化や新事業開発・商品開発の推進、モノづくりの強化に引き続き努めてまいります。また、持続的成長力を強化するとともに、社会課題の解決に貢献できる企業グループを目指してまいりますので、株主の皆様には、より一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年6月

代表取締役会長
兼 CEO
古世 憲二

代表取締役社長
兼 COO
木村 隆利



つばきグループ欧州事業展開の要 Tsubakimoto Europe B.V.

つばきグループの欧州における事業展開の要 Tsubakimoto Europe B.V.(以下、TEU)は、1972年オランダに設立されました。現在では本社所在地であるオランダのほか、ドイツ、イギリス、スペイン、チェコに生産・販売拠点を有しています。今回は、本社部門およびパワトラ製品の販売を担うTEUと、モビリティ事業の製造・販売拠点であるTsubaki Automotive Czech Republic s.r.o.(以下、TACZ)の2社について紹介します。



パワトラ事業

Tsubakimoto Europe B.V. (TEU)

TEUはチェーン製品、モーションコントロール製品のヨーロッパにおける販売拠点として1972年に設立しました。現在はオランダ本社のほか、ドイツやスペインなどヨーロッパに4拠点を有しており、販売先は33か国におよびます。顧客も多岐にわたり、設立以来培ってきた技術力と高品質な製品で高い評価を獲得しています。今後も、顧客の生産性向上、環境負荷の低減に寄与する長寿命の製品を提供することで、つばきグループの中期経営計画2025達成に貢献します。

Antoine Wilmer

Manager Strategic Planning
& Communications

TEUのここが自慢です！

2022年、最新の欧州オフィス基準への適合とコロナ禍をきっかけに急増したWeb会議への対応、社員のコミュニケーション活性化を目的にオランダ本社の改装を実施しました。解放感のあるオフィスは、商談のために訪れた顧客からも高評価。気軽にミーティングを行える専用スペースなども設け、居心地の良い空間としたことで、社員のモチベーションアップにもつながっています。



ちょっと寄り道

TEUの本社所在地であるドルトレヒトは、オランダでもっとも古い都市のひとつで、ヨーロッパ最大の港を持つロッテルダム市にも近く、多くの河川があります。有名なのはユネスコ世界遺産に登録されているキンデルダイクで、18世紀に作られた19基の風車がある美しい場所です。長年オランダの大きな問題であった洪水を防ぐため、排水ポンプの動力源などに使われてきました。風車はオランダのコアコンピタンスのひとつである「治水技術」の象徴として、今も活躍しています。



TEUは、1972年の設立以降、ヨーロッパのあらゆる業界に動力伝動・搬送用チェーンを供給しており、昨年度はヨーロッパにおける動力伝動用チェーンの販売シェア1位*の座を獲得することができました。これは、設立以来、1,200社にのぼるエンドユーザー向けに、高品質なチェーンを供給してきたことによるものと自負しています。80年代半ばからは、欧州の自動車メーカーに対して、タイミングチェーンシステムの販売を開始。2017年に設立したTACZ(チェコ)では、現在大型プロジェクトの立ち上げに向け準備を進めています。TEUでは、長寿命、メンテナンスの頻度や、潤滑油の使用量を低減できるなどのつばき製品の特長を生かし、顧客のサステナビリティに貢献することを中期経営計画2025達成に向けた戦略のひとつに掲げています。ヨーロッパ各地にある生産工場の効率化の追求、販売網の強化にも注力し、今後も事業を拡大させていきます。

*シェアは自社調べ



Frank Rosmolen

President of Tsubakimoto Europe B.V.



モビリティ事業



Tsubaki Automotive Czech Republic s.r.o. (TACZ)

TACZはモビリティ事業における欧州第2の生産拠点として2017年に竣工しました。設立当初の生産品目は、サイレントチェーンのみでしたが、四輪駆動用パワードライブチェーン、テンショナ、樹脂成型品など、順次品目が増加。それとともに顧客も拡大し、現在では欧州のみならずアジアも含めた約30の地域に供給しています。2020年頃から昨年までの約2年間、TACZとして最大規模となる新規プロジェクトの量産準備に従業員一丸となって取り組んできました。同プロジェクトの量産開始により、今後飛躍的な拡大が期待されます。



TACZのここが自慢です!

TACZは設立から約6年ですが、まだ規模が小さいため、従業員同士も親密でアットホームな雰囲気です。従業員同士の結束を高めるため、例年、全員参加の“Team Building”イベントを開催。日中は野外でスポーツやアトラクションを楽しみ、夕方にはバーベキューなどで交流を深めています。冬にはクリスマスパーティーも開催。これらのイベントは、業務を離れてお互いを知ることができる素晴らしい機会となっています。



Lukáš Zákora

Supply Chain and Logistics Manager

ちょっと寄り道

TACZはチェコの首都プラハから東に約70kmに位置しています。プラハはその美しい街並みから、旧市街が歴史地区としてユネスコ世界遺産に登録されています。豪華に装飾されたバロック様式の教会、厚い石造りの壁と円形のアーチが特徴的なロマネスク様式の建物、ゴシック様式の尖塔、ルネッサンス様式の邸宅等、様々な時代の建築様式を見ることができ、街そのものが「建築博物館」とも形容されます。街の中の入り組んだ路地を歩くだけでも歴史と文化を肌で感じることができる素敵な街です。



チェーン事業

産業用スチールチェーンは世界シェアNo.1

モノが動くところに「チェーン」あり。国内外の様々な産業向けに、世界シェアNo.1の産業用スチールチェーンをはじめとした約2万種類のラインアップから生産性向上、省エネ、環境改善につながる最適なチェーンを最高の品質でお届けしています。

【主要商品】

ドライブチェーン、コンベヤチェーン、スプロケット、ケーブル・ホース支持案内装置など

シェアは当社調べ

セグメント別売上高構成比*1

35.0%

売上高*2/営業利益率



モーションコントロール事業

減速機、直線作動機などの豊富な商品群

「Motion & Control」の分野で、独自の複合化技術と豊富な品揃えを生かし、産業機械の複雑な動きを精密にコントロールするモーションコントロール商品群。舞台の昇降装置や立体駐車場、アーケードの屋根開閉、風力発電や駅ホームの可動柵など、様々な「動かす」ニーズに的確にお応えしています。

【主要商品】

減速機、直線作動機、軸継手、締結具、クラッチ、モジュールなど

セグメント別売上高構成比*1

9.0%

売上高*2/営業利益率



2022年度の概況

チェーン事業につきましては、日本、米州、欧州、環インド洋において販売が増加したことなどにより、前年度比で増収となりました。モーションコントロール事業につきましても、部品調達問題はあったものの、日本、米州、欧州、環インド洋において販売が増加したことなどにより、前年度比で増収となりました。

専務執行役員
パワトラ事業統括
永井 康詞



モビリティ事業

エンジンの高性能化を支える タイミングチェーンシステム

自動車エンジンの高性能化、エコ化に寄与するタイミングチェーンシステムは、国内69%、世界38%とトップシェア。その技術と品質は、世界の自動車メーカーから高い信頼を獲得しています。また、EVやe-Bikeなど次世代モビリティの分野でも、エネルギーロス・CO₂排出量削減への貢献を目指しています。

【主要商品】

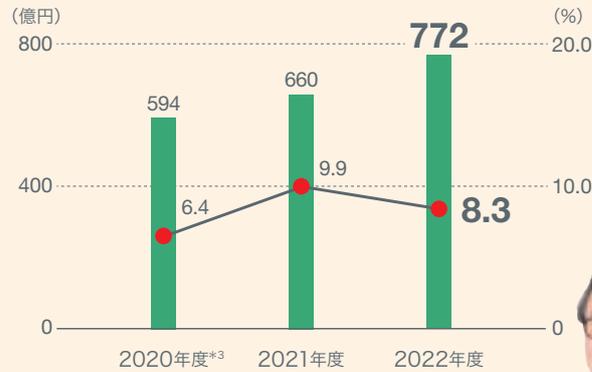
タイミングチェーン、テンショナ、ガイド、レバー、スプロケット、トランスファー用チェーン、車載用クラッチなど

シェアは当社調べ

セグメント別売上高構成比*1

30.7%

売上高*2/営業利益率



2022年度の概況

米州、欧州、環インド洋、中国、韓国などの拠点において自動車エンジン用タイミングチェーンシステムなどの販売が増加したことなどにより、前年度比で増収となりました。



上席執行役員
モビリティ事業統括
佐藤 功

マテハン事業

生産性向上に寄与する ソリューションを提供

物流センターにおける自動仕分け装置は、国内シェア70%超。超低温自動保管庫「つばきラボストック®」は、創薬やDNAなどの研究に寄与しています。その他、自動車塗装ライン搬送設備や粉粒体搬送コンベヤなど、お客様の生産性向上、環境負荷低減に寄与するソリューションを提供しています。

【主要商品】

物流業界向けシステム、自動車業界向けシステム、ライフサイエンス分野向けシステム、粉粒体搬送コンベヤなど

シェアは当社調べ

セグメント別売上高構成比*1

24.2%

売上高*2/営業利益率



2022年度の概況

日本における物流業界向けや自動車業界向けシステム、粉粒体搬送コンベヤなどの売上が減少しましたが、日本および米州、欧州における金属切屑搬送・クーラント処理装置の売上が増加したことなどにより、前年度比で増収となりました。

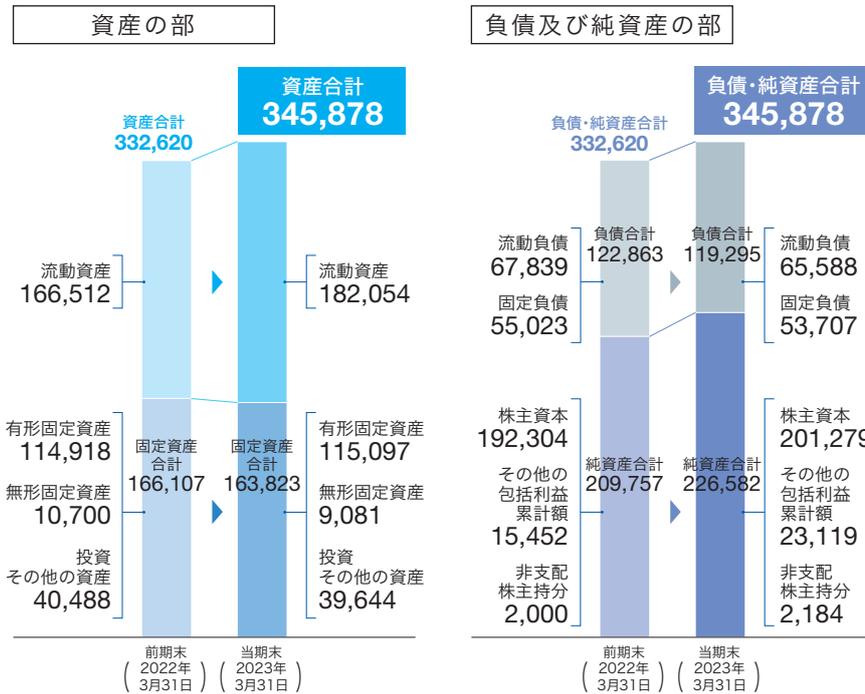
上席執行役員
マテハン事業統括
岡本 雅文



*1 セグメント別売上高構成比は「外部顧客に対する売上高」を基準に算出しています。 *2 売上高には「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。 *3 2021年度よりビジネスの一部をモーションコントロール事業からモビリティ事業に移管しております。2020年度の数値も当該変更を反映しております。

連結貸借対照表の概要

(百万円)



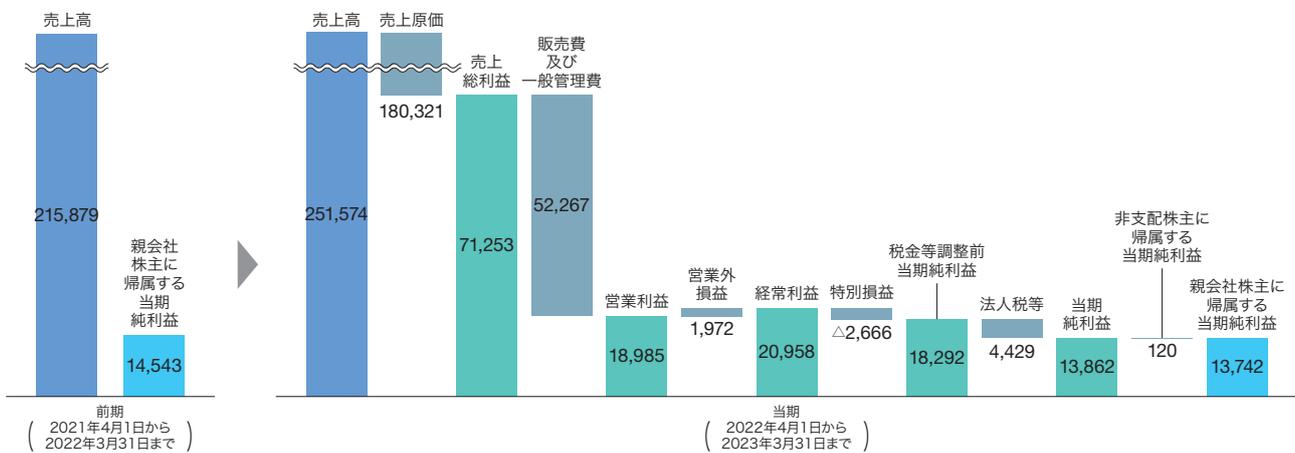
さらに詳しい財務データは、当社ホームページの「IRライブラリ」をご覧ください。

ツバキモト IR

<https://www.tsubakimoto.jp/ir/library/>

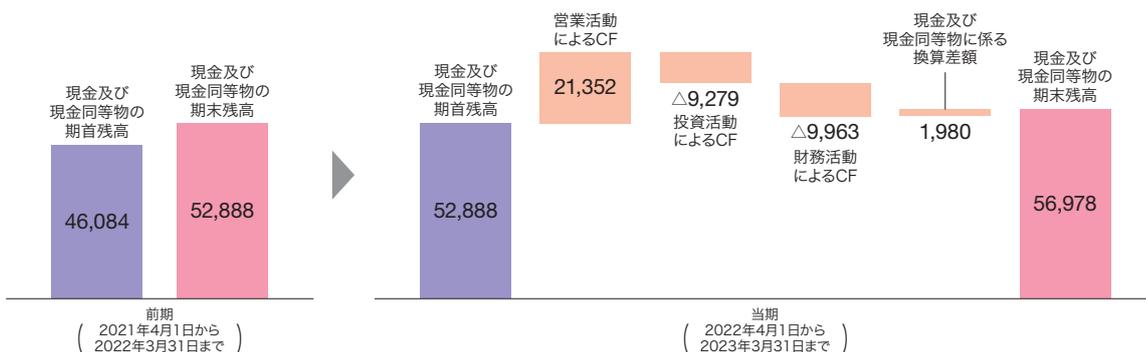
連結損益計算書の概要

(百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)



2023年3月

機関投資家・アナリスト向け チェーン事業説明会・工場見学会を開催

京都府京田辺市のチェーン工場において、京田辺工場としては約7年ぶりとなる事業説明会ならびに工場見学会を開催しました。当社チェーン事業の基本的な事業内容から、中期経営計画2025に基づくチェーン事業の成長戦略の説明後、モノづくり現場を見学。「人にやさしい工場」実現に向けた生産工程の自動化のほか、情報とモノづくりの融合を図ることでムダのない製造工場を目指すモノづくり改革プロジェクト「LinK2025」の取り組み状況を確認。チェーン事業への理解が深まったと高い評価をいただきました。今後もつばきグループの事業内容や成長戦略への理解を深めていただくために、様々な取り組みを行ってまいります。



2023年3月

「新事業提案チャレンジ “T-Startup”」事業化に向け4テーマを選出

昨年6月よりスタートした当社初の試み「T-Startup（新事業提案チャレンジ）」。100件を超える応募の中から、二度の審査を経て4件のテーマが選出され、事業化に向け動き出しました。つばきグループの4事業に続く第5・第6の柱の創出に向けチャレンジを続けることが、結果として社会課題解決に貢献できる企業の実現につながると考え、展開を加速していきます。



“T-Startup”とは…

つばきが挑戦すべき新たな分野の事業や、既存事業に変革をもたらすビジネスアイデアの提案コンテスト。「つばき(T)のチャレンジングな新規事業の立ち上げ(Startup)」という思いが込められています。



つばきのサステナビリティ

カーボンニュートラルに向けた取り組み

つばきグループでは、ESG・サステナビリティへの取り組みの強化を中期経営計画の戦略課題と位置付けています。多くの社会課題の中から、「カーボンニュートラル」「人権・ダイバーシティ」「サプライチェーンマネジメント」「危機管理・BCP」「情報セキュリティ」の5項目を重要マテリアリティとして抽出し、担当部門、該当委員会で具体的な活動計画を作成してPDCAを廻しています。また、その活動の方策や進捗を社長が委員長を務める「サステナビリティ委員会」で討議・決議して、取締役会に報告しています。その中でも「2050年カーボンニュートラル達成」に向けて、昨年度のTCFDへの賛同に続き、SBT (Science Based Target) 認証取得のため、Scope1,2 およびScope3 CO₂排出量の算定と2030年度に向けた削減目標を設定、申請し、2023年5月にSBT認証を取得しました。今後はグローバルグループに加え、サプライチェーン全体でのCO₂排出量削減に取り組みます。

会社概要

商号 株式会社椿本チエイン
 本店所在地 大阪市北区中之島3丁目3番3号
 設立年月日 1941年(昭和16年)1月31日
 資本金 17,076百万円
 工場 京田辺・埼玉・長岡京・兵庫・岡山
 支社 東京・名古屋・大阪
 営業所 大宮・豊田・大阪北・広島・九州
 関係会社 連結子会社：65社 非連結子会社：8社
 関連会社：8社(うち、持分法適用関連会社2社)
 従業員数 連結8,691名 単体2,977名
 (従業員数には契約社員、パート、アルバイトを含んでおります。)

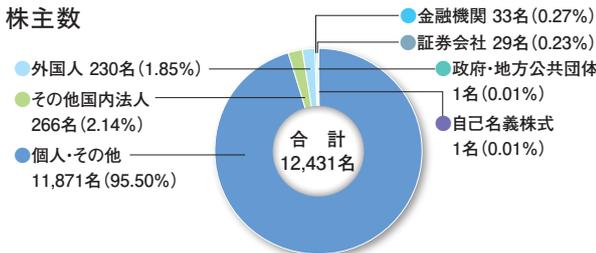
役員 (2023年6月29日現在)

代表取締役会長兼CEO	古世 憲二	上席執行役員	Kevin Richard Powers
代表取締役社長兼COO	木村 隆利	上席執行役員	揚田 利浩
取締役	宮地 正樹	上席執行役員	石田 裕美
取締役	安藤 圭一(※1)	上席執行役員	岡本 雅文
取締役	北山 久恵(※1)	上席執行役員	佐藤 功
取締役	谷所 敬(※1)	上席執行役員	堺和 伸光
常勤監査役	田中 浩司	上席執行役員	丹山 太
常勤監査役	川崎 加寸也	執行役員	熊倉 淳
監査役	碩 省三(※2)	執行役員	明坂 泰宏
監査役	内藤 秀文(※2)	執行役員	前田 隆雄
専務執行役員	永井 康詞	執行役員	藤村 昌由
常務執行役員	中村 一智	執行役員	中久保 克也
常務執行役員	西井 久雄	執行役員	佐伯 充史

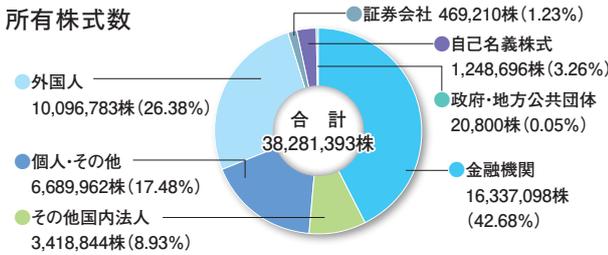
(※1)取締役のうち安藤圭一氏、北山久恵氏および谷所敬氏は社外取締役です。
 (※2)監査役のうち碩省三氏および内藤秀文氏は社外監査役です。

株式の所有者別分布状況

株主数



所有株式数



株主の皆様へのお知らせ

各種手続のお申出先

- 住所変更、配当金の受け取り方法のご指定、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

区分	お申出先
証券会社でお取引をされている株主さま	株主さまの口座のある証券会社
特別口座(証券会社に口座のない)の株主さま	三井住友信託銀行株式会社 (上記、電話照会先をご参照ください。)

株式の状況

発行可能株式総数 59,800,000株
 発行済株式の総数 38,281,393株
 株主数 12,431名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,695千株	12.67%
太陽生命保険株式会社	3,559	9.61
株式会社日本カステディ銀行(信託口)	1,671	4.51
椿本チエイン持株共栄会	1,620	4.37
日本生命保険相互会社	1,576	4.25
椿本興業株式会社	1,158	3.12
株式会社三井住友銀行	1,000	2.70
三井住友信託銀行株式会社	722	1.94
GOVERNMENT OF NORWAY	671	1.81
株式会社りそな銀行	667	1.80

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
 2. 当社は、自己株式1,248,696株を所有しておりますが、上記大株主には含めておりません。
 3. 持株比率は、自己株式1,248,696株を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間9:00~17:00(土・日・休日を除く) ※取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
公告の方法	当社のホームページに掲載 (事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載)

特別口座について

株券電子化の手続(証券会社の預け入れ)が済んでいない株式は、特別口座にて管理されています。特別口座は株式を売買するための取引口座ではありませんので、株式の売却の際は、あらかじめ証券会社の口座へ振り替えておく必要があります。詳細は、三井住友信託銀行株式会社(上記、電話照会先をご参照ください。)にお問い合わせください。

未払配当金の支払について

三井住友信託銀行株式会社(上記、電話照会先をご参照ください。)にお問い合わせください。